



Leadership in Higher Education Seminar 2010

4 March 2010, Tokyo

ブリティッシュ・カウンシル主催

「高等教育におけるリーダーシップ・セミナー2010」

プログラム

Date/Time	Activity
4 March	09:30 開始
9:30-9:35 (5 min)	歓迎のことは: 駐日英国大使 デビッド・ウォレン Welcome: The British Ambassador, Mr David Warren
9:35-9:40 (5 min)	セミナー・プログラム紹介とご挨拶 司会 アリソン・ビール ブリティッシュ・カウンシル 駐日副代表 Alison Beale, Deputy Director (Director of Programmes) British Council Japan
09:40-10:25 (45 min)	高等教育におけるリーダーシップとマネージメントに関する講演 (1)* 「英国高等教育セクターにおけるリーダーシップの課題について」 英国ウォーリック大学 副学長(大学リソース担当) マイケル・ウィットビー教授 "Leadership challenges in the UK HE sector" Prof Michael Whitby, Pro-Vice-Chancellor (Academic Resourcing), University of Warwick
10:25-10:45 (20 min)	「日本の高等教育における戦略的課題」 野上 智行 氏 (社団法人国立大学協会 専務理事、ロンドン大学Institute of Education 高等教育研究センター客員教授) "Strategic Challenges in Japanese Higher Education" Dr Tomoyuki Nogami, Senior Managing Director, The Japan Association of National Universities<JANU>, Visiting Professor, Centre for Higher Education Studies, Institute of Education<IoE>, University of London
10:45-11:05 (20 min)	ケース・スタディー「東北大学の取組みについて」 井上 明久 氏 (東北大学 総長) A case study of Tohoku University Dr Akihisa Inoue, President, Tohoku University
11:05-11:20 (15 min)	Tea break
11:20-12:00	高等教育におけるリーダーシップとマネージメントに関する講演 (2)* 「リーダーシップの課題:ウォーリック大学の場合」



(40 min)	英国ウォーリック大学 副学長(大学リソース担当) マイケル・ウィットビー教授 "Leadership challenges: a case study of the University of Warwick" Prof Michael Whitby, Pro-Vice-Chancellor (Academic Resourcing), University of Warwick
12:00-12:15 (15 min)	質疑応答 (登壇者) - マイケル・ウィットビー教授 (英国ウォーリック大学副学長) - 野上 智行 氏 (社団法人国立大学協会 専務理事) - 井上 明久 氏 (東北大学 総長)
12:15-12:20 (5 min)	閉会のご挨拶 ジェイソン・ジェームズ ブリティッシュ・カウンシル 駐日代表 Closing remarks by Jason James, Director, British Council
12:20 – 13:45 (1h 25 min)	デイビッド・ウォレン 駐日英国大使主催 ネットワーキング・レセプション Networking lunch hosted by the British Ambassador, Mr David Warren
	終了 End of programme

英国登壇者のプロフィール

Professor Michael Whitby - Academic Resourcing
マイケル・ウィットビー 古典・古代史学部教授
 英国ウォーリック大学副学長(大学リソース担当)



略歴:

オックスフォード大学マートン・カレッジの特別研究員(ジュニア・リサーチ・フェロー)を経て、セント・アンドリュース大学の古代史教授となり、1996年よりウォーリック大学の古典・古代史学部の教授に就任。2003年、副学長(教授・学習担当)に就任し、より国際化に重点を置いた大学の戦略「ビジョン 2015」に伴い、2007年より国際業務を兼任し、2009年より大学リソースングに対して責任を負う。

ローマ時代後期、ビザンティン初期の歴史および史学書を多数出版している。

大学プロフィール:

ウォーリック大学は1965年に設立、英国でも有数の卓越した研究活動には定評があり、英国の大学のなかでも研究、教育の質の高さ、イノベーション、企業との関わりにおいて優れた実績を持つ。英国の研究評価事業(RAE)2008では、全英7位にランクされており、大学の研究評価はその65%が4*(世界トップレベル)もしくは3*(国際的に優れている)であった。メディア・リーグテーブルでも常に上位10位内のランキングを維持している。ウォーリック大学は2015年までに世界の大学のトップ50入りを果たし、研究と教育の世界的リーダーとなるビジョンを持つ。

※ 英国ウォーリック大学副学長 マイケル・ウィットビー教授のプレゼンテーション資料(トランスクリプト)については以下をご覧ください。

- 高等教育におけるリーダーシップとマネージメントに関する講演 (1)
「英国高等教育セクターにおけるリーダーシップの課題について」
- 高等教育におけるリーダーシップとマネージメントに関する講演 (2)
「リーダーシップの課題: ウォーリック大学の場合」